

資料館だより

第60号

平成18年

5月1日号

三ヶ名1550番地

629-6847

静岡産業大学教授中村羊一郎氏講演会 「ミャンマー辺境の暮らしと文化」

ミャンマーの歴史・文化を実感

静岡産業大学教授で、民俗学を専門に研究されている中村羊一郎氏の講演会を四月二二日(土)に、歴史民俗資料館友の会との共催で開催しました。

中村羊一郎氏は静岡市生まれで焼津中央高校教諭、静岡県史編さん室長、吉田高校校長などを歴任されました。

講演会では、中村氏が生活習慣を取材したビデオ映像や、民族の暮らしぶりを収めた数多くの貴重なスライド写真が上映され、当地の民族事情やお茶栽培をめぐる人々の暮らしぶり、そして日本との意外な関係など、我々の知らないミャンマーを丁寧に解説していただきました。また、『ビルマの竖琴』で有名な伝統的な楽器や少数民族の衣装の実物も紹介され、現地の生活や風習を肌で感じたような一時間半となりました。

ビジュアル的にも分りやすい講演内容に、参加された皆様からは時おり驚きと感嘆の声が漏れ、ミャンマーに行ってみたくなった「是非第二段を!」「ミャンマーの人々の暮らしなど、なかなか分からないことが詳しく聞けて良かった」など、御好評の声を多数いただきました。

焼津市文化財保存協会が

平成17年度伊伝財団文化財保護振興奨励賞を受賞

財団法人伊豆屋伝八文化振興財団による平成一七年度伊伝財団文化財保護振興奨励賞に、焼津市文化財保存協会が選ばれました。

焼津市文化財保存協会は昭和四八年に設立され、その活動は多岐にわたっており、地名碑の建立は一箇所を数え、郷土資料展は焼津の年中行事となっており、また、郷土の古い写真を収集した写真集「懐かしの焼津」を発行するなど特色のある活動を幅広く展開し続けてきました。

その長年にわたる地道な活動が総合的に評価されての受賞となりました。

財団法人伊豆屋伝八文化振興財団

理事長は渡邊朗氏。同財団は静岡県内の文化財の保存と活用に貢献し、文化の振興と発展に寄与することを目的に、平成八年に設立された。文化財の修理・保存、調査・研究に対する助成事業、文化財の保存・調査・普及などに貢献した個人や団体への顕彰事業、文化財の公開展示などの普及事業を行っている。

春季一般公開

焼津市指定文化財寄託資料展

三月一日から二六日まで東益津公民館で開催しました。寄託資料展は普段は資料館の収蔵庫で保管されている寄託資料を一般公開

するものです。

一般公開された寄託資料は、香集寺の絵馬「弘徳院の絵馬」「若宮八幡宮の棟札」「勢岩寺の弘法大師像」です。

資料展初日には地元ケーブルテレビが取材に来て一五日(水)夕方六時から二ユー・ス番組で取り上げられました。

開催会場は、多くの小中学生を含む地区の皆様が文化財を見学に来場し、合計三六一人の入場がありました。見学者からは「実物を見る機会はなかなかないので良かった」「次の世代へ文化財を伝えていくために大切に保存してほしいと思った」「絵馬の実物はすごく大きく迫力があつた」「地元文化財を初めて見させてもらい、これからの参考にしたい」「地元で公開するのはとても良い企画だと思つた」といった感想が聞かれました。



香集寺の絵馬

子供映画会を開催

文化センター小ホールで二月二六日(日)、三月三十日(木)に「こども映画会」を開催しました。

上映作品は二月は「スノーマン」「ゆきおんな」など雪に関する映画を四本、三月は「ぶんぶく茶釜」「わらしべ長者」など日本の昔話を五本上映し、二回合計で三二一人が入場され、親子で楽しんでいました。

「さがしにいこうよ！ やいづ 東益津の歴史にふれよう」「小川・石津歴史探訪」

東益津の歴史を訪ね歩く

三月一日(土)に東益津地区の名所旧跡を訪ね歩きました。

当日は焼津駅から出発し、東益津公民館で開催していた「焼津市指定文化財寄託資料展」に立ち寄り、資料館に寄託されている四点の文化財の見学をした後、高草山中腹にある笛吹段古墳群まで行き、そこで眼下に広がる焼津市の町並みを眺めながら昼食をとりました。午後は林叟院の指定文化財、法号庵の閻魔王像、猪之谷神社のナギの木、若宮八幡宮の石橋を見学し焼津駅で解散しました。

およそ十キロの長い行程でしたが、「歩く事で普段見逃してしまうものが色々見ることが出来た」、「もっと焼津の歴史について勉強したくなった」と三三名の参加者は満足していました。

小川と石津の歴史巡り

四月八日(土)に小川と石津地区の名所旧跡を巡る史跡めぐりを実施し、三七名の参加者がありました。

参加者は光心寺の麒麟の筈、海蔵寺の絵馬・本尊厨子、永豊寺の山門などの文化財や、小川城跡や青峯山教会、信香院の長谷川正長の供養塔、林叟院跡地等の名所旧跡を講師の説明を聞きながら訪ね歩きました。今回は地元の小川、石津の方を中心に大変多くの申し込みがありましたので、九月にも小川・石津地区を巡る史跡巡りを実施する予定です。是非御参加ください。

旧正月子供餅つき教室を開催

日本では明治時代初期までは現在の太陽暦ではなく、太陽太陰暦を使用していました。太陽暦のことを新暦、太陽太陰暦のことを旧暦といい、新暦と旧暦では一ヶ月ほど差があります。新暦導入後も旧暦での一ヶ月遅れの年中行事を行う習慣は強く残っています。港公民館と歴史民俗資料館の共催で二月四日(土)に港公民館で旧正月子ども餅つき教室を開催し、二二人の子供が参加しました。

餅つき教室では、臼と杵を使い、餅つきをしました。参加した小学生は、周りの大人に手伝ってもらいながら始めての餅つき体験をした後、つきたての餅で磯辺餅、きなこ餅、あんこ餅、大福餅の他豚汁を作りました。参加した小学生は「初めてのことがたくさん出来て良かった」と好評でした。

初めて自分でついたお餅に大満足

竹のおもちやをつくろう！

大変好評を得ている恒例の「竹細工教室」を三月二五日(土)・二六日(日)の二日間にわたり池田四郎さん、小西巖さん、竹内英夫さん、嶋谷昇さんを講師に迎え、実施しました。

今回は、自由入場にして好きな時間にブローペラトンボやみかん鉄砲、うぐいす笛、カラス笛など計六種類の中から好きなおもちやを選んで製作できるようにしました。二日間で八八名が参加し、それぞれ自分の作りたい竹のおもちや作りに挑戦しました。

子供達は「作るの難しかったけどすこ

二日連続自由入場で実施

新春・春休みクイズラリーを開催

く楽しかった「手作りのおもちやには興味があったので良かった、また参加したい」という感想が聞かれたほか、親からも「ナイフやノコギリを使う機会が無いので良い経験になった」「父と子一緒に工作が出来て良い思い出になった」という声が聞かれました。

一月七日から二月二六日までの土日祝日と、三月一八日から三一日まで、資料館展示室でクイズラリーを開催し、合計二九日間の期間中に小学生から大人まで延べ五四五人の方が焼津の歴史に関するクイズに挑戦しました。

その中でも小学生向けのジュニアコースの挑戦者が多く、一生懸命に問題を解いていました。今後もクイズラリーを開催しますので、皆さんも是非一度挑戦してみてください。

行事予定

月		日		内容
六	五	四	三	
		二七(土)	二八(日)	ふるさと探検隊 ほたるの秘密をさぐる こどもえいがまつり
		三〇(土)	三一日(日)	梅雨のクイズラリー(土日開催)
		三(土)	四(日)	さがしにいこうよ! やいづ 東益津の自然と名所旧跡を探ろう
		十八(日)	十九(日)	子供講座
		二四(土)	二五(日)	公開講座「村松文三」